

むつ版

We Believe

ミッション! パッション! ハイテンション!



寒中褌

副理事長 尾崎 幸

令和二年一月四日(土) 田名部神社にて、毎年恒例の厄払いに加えて、新し試みとして寒中褌の儀式に参加いたしました。ちなみに褌を調べると、『身に罪や穢(けが)れのある者、また神事に従事しようとする者が、水でからだを洗い清めること』とありました。

自身の半生を振り返ってみると、少し思い当たる節がありましたので、挑戦してみることにしました。きっと、企画運営した理事長・専務も思い当たる節があったかと思えます…。

今年のむつ市は、例年にはないほど雪がない日が続いていますが、当日は雪が降り積もっており、ロケーションとしては最高かもしれません。が、とにかく寒かったです。男性メンバーはふんどし1枚で裸足スタイルで(専務はしっかりと足袋持参でした)、とにかく見ている側が鳥肌が立つような姿でした。ちなみに私は、女性ということに着物袴とちやっかり足袋着用! 着物袴絆なので、覆われている面積が大きいの男性よりましかなと思っていました。これが思わぬ悲劇を招くとはその時は思ってもみませんでした…。

まずは神社内で恒例の厄払いをお願いし(この時点で男性ふんどし・女性袴絆なのですでに冷え切っておりました)、いよいよ外に出て寒中褌スタート! 説明で聞いていたよりとてつもなく長い時間に感じ、いよいよ水をかぶる時は自分でも聞いたことのないような悲鳴に似た声でたのが印象的でした…。あんなに甲高い叫び声「ぎやああー」と叫ぶのはもう二度とないと思います。水をかぶってから、それまで他メンバーより暖かいはずと思っていた袴絆が水分で体に密着し、一層体を冷やしたのは計算外でした。本当に寒かった…。

褌を終えた直後は、もう二度と参加しない! と心に決めていたのですが、不思議なことに今は来年も参加しようかな…と考えております! これぞむつJrCマジック!



一月定時総会並びに新年祝賀会

総務委員会委員長 川西 竜

一月十五日(水)に二〇二〇年度、一月定時総会並びに新年祝賀会が開催されました。初めての委員長で、不安がありました。皆様のおかげで無事乗り切ることができました。平日の忙しい時期にもかかわらず、むつ青年会議所メンバーの皆様にはご協力いただき、大変ありがとうございました。

新年祝賀会におきましては、メンバーの方にたくさん参加して頂き、大きなトラブルもなく無事終了することができたと思います。たくさんのご来賓、OBの方々に参加して頂き、高屋理事長の二〇二〇年度の体制、活動方針が伝える事ができたと思います。

また、今回の祝賀会では理事長夫人の招待や、メンバーの代表者様を招待するなど、初の試みもありました。あまり代わり映えない祝賀会ですが、その年の理事長色を出すのも面白いかもしれません。

細かい反省点は、数えればキリがないですが、むつ青年会議所メンバー全体で共有して、次年度に引き継ぎたいと思います。



第二十五回下北かるた大会

ひとづくり委員会 副委員長 若佐 卓



運営や準備にご協力いただいたOBの皆さま、メンバーの皆さま長丁場を支えていただき、誠にありがとうございました。特に成田副理事長、多忙の中、準備から運営まで大変お疲れ様でした。頭が上がりません。

昨年末頃から、高松委員長をトップとしたひとづくり委員会のメンバーで委員会を重ね、むつ下北の次世代を担う子供たちへ「ふるさと下北」を楽しく学んでもらうことを念頭に歴史ある大会の準備を進めてきました。

事業を行って思ったことは、子供たちの真剣な表情や楽しんでいる姿を見て、この事業がいかにこの地域にとって必要なことを教えられた気がします。むつ下北の良さをかかると通して、伝える。子供たちのかかるとした大会での体験は、将来必ず何かに作用するものだと感じております。

反省点などをしっかりと洗い出し、更に地域にとって良い事業となるよう引継ぎをしっかりとやりたいと思います。

繰り返しになりますが、早朝から夕方までご協力いただいた皆さまに感謝いたします。

みこし祭り継続について

事務局長 紺野 健治

令和一年十二月十日十八時より、まさかりプラザ三階和室にて、「みこし祭り継続についてのご説明会」を開催させて頂きました。過去五年以内にみこし祭りにご参加頂いている団体様あてに開催したものです。

説明会当日は、時の流れによる事業目的の形骸化や、みこし祭りの参加団体の減少や事業費について等、現状をご説明させて頂きました。

ご説明会後にはアンケートを配布し、みこし祭りの主催団体となるか否かという問い、その他にどのような形であれば継続ができるか、といった内容のアンケートにご回答頂きました。翌年の令和二年一月末、みこし祭り特別委員会メンバーの山口義隆委員がアンケートを集計し、とりまとめました。集計結果としては、主催団体となる団体は残念ながらゼロでしたが、事業費についての提案やみこし祭りの意義など、多くのご意見を頂きました。頂いたご意見をもとにむつ青年会議所として再度熟考しました結果、二〇二〇年度のみこし祭りについては見送るという結果に至りました。二〇二〇年度以降につきましては、再度開催のご要望等があり次第、会として検討する方針です。

説明会にお越しいただきました参加団体の皆様と、理事長を始めとしたみこし祭り特別委員会の皆様に感謝申し上げます。